

# 自立 敬愛



## 「学校関係者評価」を開催

▼2月24日(水)、市川南小中学校の「学校関係者評価委員会」が開催されました。学校関係者評価とは、学校の教育活動の観察や意見交換等を通じて、自己評価の結果について評価することを基本として行うもので、今年度は学校評議員の鈴木幹彦さん、齋藤正樹さん(区長会長兼任)、齋藤信子さん(主任児童委員兼任)、大同公民館長の小池貴仁さん、PTA代表の鹿野浩一さん、中山亘さん、村松彩さん、地区町民会議代表の遠藤秀明さんの評価委員で構成されています。



▼会では、はじめに小中教頭より、昨日保護者の皆様にも配布した「学校評価」を説明しました。

▼その後行われた意見交換では、  
・「学校が楽しい」と子供たちが感じてくれることが何よりの「宝物」。この地域に住む者としては誇らしい。

・いじめや生徒理解についての保護者からの記述からは、学校への期待感が読み取れる。今後も、保護者の声によく声を傾けて自信を持って教育活動にあたってほしい。

・我が子も中学生時代にストレスマネジメント教育を受ける事ができた。社会に出てからも生きた学びとなっている。

・ICT 機器を効果的に活用する一方で、読書活動を推進してもらいたい。読書には想像力や思考力を高める力がある。

・学校からのスピーディーな不審者情報はありがたい。しかしその案件に対するその後の情報がなく、不安な要素が残る。安心して生活できるようその後の情報が欲しい。

等のご意見が寄せられました。

▼今後とも、学校評価結果並びに今回いただいたご意見をもとに、職員一丸となって、子供たちの豊かな成長のために頑張っていこうと思います。

## 「地域学校協働本部」臨時総会を開催

▼2月24日(水)、市川南小中学校地域学校協働本部の臨時総会が行われました。この会は、地域と学校が連携・協働して、地域全体で未来を担う子どもを支えるとともに、学校を核とした地域の活性化を図るボランティア活動を推進することを目的としています。▼今年度二度目となる今回の臨時総会では、今年度の活動のまとめと、規約改正が事務局より提案され承認されました。活動の総括では、今年度はコロナウィルスの感染防止のため、多くの活動が予定通り実施できなかったこと、規約改正では、理事会で選出された



事務局長(地域コーディネーター)が活動計画の企画や運営を行うことになりました。▼この組織は、次年度以降、市川三郷町内の中学校区ごとに設立される予定であり、本地区はそのモデルとして、より有機的に学校と地域が連携できる組織となることが期待されています。今回の臨時総会は、その足場を固める重要な会となりました。

## 「三味線」の出前授業

▼2月18日(木)、音楽の授業で、我が国の伝統音楽に親しむことを目的にゲストティーチャーによる三味線の授業が行われました。講師を務めてくださった小林百合さんは東京芸術大学出身で、南アルプス市出身の長唄三味線奏者です。▼授業は、1・2年生と3年生に別れ、各2時間行っていました。子供たちも集中して授業に臨み楽しく充実した一時を過ごすことができました。授業後、小林先生は子供たちの上達ぶりを褒めてくれました。

